

安全データシート

1. 製品名及び会社情報

製品名 :クリンストン中和剤
会社名 :クリンストンホームサービス株式会社
住所 :東京都練馬区平和台1-7-20
担当者 :後藤満弘
電話番号 :03-6909-4703
FAX番号 :03-6909-4705
緊急連絡先 :03-6909-4703
整理番号 :CL0010

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

自然発火性液体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入・蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入・ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水性環境有害性(急性)	分類できない
水性環境有害性(慢性)	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語 :注意喚起語なし

危険有害性情報 :危険有害性情報なし。

注意書き

【安全対策】 使用前に本MSDSの記載内容を良く読み、理解した上で取こと。

この製品を取扱う時に、飲食又は喫煙しないこと。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用のこと。

取扱い後は良く手を洗うこと。

【救急処置】 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに、医師の診断、手当を受けること。

飲み込んだ場合、ミルクなどを飲ませて、直ちに医師の診断、手当を受けること。

皮膚に付着した場合、石鹼で充分洗浄後、水洗いすること。

眼に入った場合、直ちに、流水で15分間以上、注意深く洗流すこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合外し、洗浄を続けること。直ちに、医師の診断、手当を受けと。

暴露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。

【保管】 容器を密封して涼しく換気の良い所で保管すること。

【廃棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成・成分情報

単一成分・混合物の区別:混合物

製品中の成分及び含有量:成分中に危険有害成分はない。

その他の成分(水)を含有し、全て既存化学物質である。

分類に寄与する不純物及び安定化添加物:その他の情報なし

4. 応急措置

吸入した場合 :被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに、医師の診断、手当を受けること。

飲み込んだ場合 :水またはミルクなどを飲ませて、希釈する。医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合 :石鹼で充分洗浄後、水洗いする。

眼に入った場合 :直ちに、流水で15分間以上洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。
直ちに、医師の診断、手当を受けること。

予想される急性症状

吸入した場合 :悪心、嘔吐、腹痛、下痢、

飲み込んだ場合 :悪心、嘔吐、腹痛、下痢、

皮膚に付着した場合:発赤、痛み

眼に入った場合 :発赤、痛み

5. 火災時の措置

消火剤 :本品は不燃性であるが、周辺火災に適応した消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤:情報なし

特有の危険有害性 :情報なし

特有の消火方法 :危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火作業は風上から行い、消火の際には必ず保護具を着用する。

消火を行う者の保護 :消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

:全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。

適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

低地から離れ、風上に留まる。

密閉された場所に立ち入る前に換気する。

環境に対する注意事項 :河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

直接環境中に放出してはならない。

除去方法 :少量の場合、雑巾などで吸収し取り除いた後、大量の水で洗い流す。大量の場合、土砂などで囲って流出の拡大を防止し、土砂および沈殿物を回収除去後、大量の水で洗い流す。回収した土砂および沈殿物は廃棄処分する。

封じ込め及び浄化方法・機材

:危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策 :付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消化剤を準備する。床に漏れた状態で放置すると、滑りやすくスリップ事故の原因となる為注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】

技術的対策 :「8.暴露防止及び保護措置」の項に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気 :「8.暴露防止及び保護措置」の項に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱注意事項 :使用前に本MSDSの記載内容を良く読み、理解した上で取扱うこと。

転倒、落下、衝撃、引きずり等の粗暴な取扱いをしない。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

眼に入れないこと。

取扱い後は良く手を洗うこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

【保管】

技術的対策 :取扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

保管条件 :直射日光や火気を避け、密封して換気の良い冷所に保管する。

混触危険物質 :物質なし。

容器包装材料 :規定なし。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 :本製品を貯蔵又は取扱い場所の近くに、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置し、その位置を明確に表示すること。

空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気(局所排気、全体換気)用の換気を行うこと。

高熱工程でミストが発生する時は、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気(局所排気、全体換気)装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 :保護マスクを着用すること。

手の保護具 :保護ゴム手袋を着用すること。

眼の保護具 :保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き又はゴーグル型)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具:防災面や不浸透性保護衣及びゴム長靴を着用すること。

衛生対策 :保護具は点検表により定期的に点検する。

取扱い後は良く手を洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さない。
汚れた服は洗濯してから再使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色 :透明液体
含有濃度 :10% - 10.1%
pH :12
沸点 :データなし
融点 :データなし
引火点 :データなし
自然発火温度 :なし
燃焼性 :不燃性
分解温度 :データなし
爆発限界 :なし
蒸気圧 :データなし
比重 :1.12 - 1.13
溶解性 :水に易溶
分配係数(水/油) :データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 :常温では安定な水溶液である。
危険有害反応可能性 :常温では安定な水溶液である。
避けるべき条件 :情報なし
混触危険物質 :酸と接触すると発熱反応し、CO₂を放出する。
危険有害な分解生成物 :危険、有害な分解生成物はない。

11. 有害性情報

急性毒性(経口) :ウサギ LD₅₀ 4,000mg/kg マウス LD₅₀ 117mg/kg
ネズミ LD₅₀ 4,200mg/kg
急性毒性(経皮) :調査した範囲では、有害性を示す情報はない。
急性毒性(吸入・蒸気) :成分、製品共にデータなし
急性毒性(吸入・ミスト) :成分、製品共にデータなし
皮膚腐食性・刺激性 :皮膚、眼を刺激し炎症を起こす。

眼に対する重篤な損傷・眼刺激

:皮膚、眼を刺激し炎症を起こす。
呼吸器感受性 :成分、製品共にデータなし
皮膚感受性 :成分、製品共にデータなし
生殖細胞変異原性 :成分、製品共にデータなし
発がん性 :OSHA、NTPの発がん性物質リストに該当していない。
生殖毒性 :成分、製品共にデータなし
特定標的臓器毒性(単回暴露) :成分、製品共にデータなし
特定標的臓器毒性(反復暴露) :成分、製品共にデータなし
吸引力呼吸器有害性 :成分、製品共にデータなし

12. 環境影響情報

水性環境有害性(急性) :成分、製品共にデータなし
水性環境有害性(慢性) :成分、製品共にデータなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 :廃棄においては、都道府県等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託し

て処理する。

排水は水素イオン濃度、温度、窒素等が条例で決める規制値に適合していること。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

国内規制

陸上規制情報 : 該当しない。

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

特別な安全対策 : 直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

輸送前に、容器が密封されているか、また液やガスの漏れが無いかを確認する。

輸送及び運搬は、常にしっかり固定した状態で行い、特に、缶及びドラムは輸送中に互いに衝突して損傷することの無いように、予め適当な緩衝物を詰めておく。

緊急時応急措置指針 : 127

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

: 該当なし

労働安全衛生法 : 57条の2 通知対象物質

消防法 : 消防法危険物除外品 (第4類 アルコール類より除外)

水質汚濁防止法 : 非有害物質

航空法 : 該当なし

船舶安全法 : 該当なし

港則法 : 該当なし

下水道法 : 非有害物質

水道法 : 非有害物質

道路法 : 該当なし

労働基準法 : 該当なし

食品衛生法 : 施工規則第3条

薬事法 : 医薬品原料

16. その他の情報

参考文献 : 製品安全データシート作成指針(改訂2版) 社団法人 日本化学工業協会

安全情報センターモデルMSDS

IUCLID Dataset (European Chemical Bureau, 2000.2)

GHS分類マニュアル(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)(2006)

国際化学物質安全性カード(ICSC)

<記載内容の取扱い>

本MSDSは現時点で入手できた資料や情報データ等に基づき作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険有害性などに関して、いかなる保証をするものではありません。

また、注意事項は通常の手取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、本製品をご使用またはお取扱い下さいますようお願いいたします。

